

## G20 エネルギー移行大臣会合 議長総括(仮訳)

2022年9月2日 インドネシア・バリ

我々G20のエネルギー担当大臣は、我々が共に、より強く回復するために、クリーンで、持続可能で、公正で、廉価で、包摂的なエネルギー移行を加速するための具体的かつ実践的行動に焦点を当てることを目指し、2022年9月2日にバリ島にて、オンラインおよび対面で会合を開いた。

### 第1部

1. 我々は、エネルギー価格の高騰と市場の変動、エネルギーサプライチェーンの混乱、新型コロナウイルスのパンデミックの余波を受けた記録的なインフレ、これらと同時に、人、地球、繁栄、平和に広く影響を及ぼす地政学的緊張の高まりといった、世界的なエネルギー危機の最中にある。
2. この点で、エネルギー移行の加速化及び、エネルギーアクセスの確保に向けた世界的な努力に悪影響を及ぼしている、ウクライナにおける戦争を含む、世界の多くの地域で増加、継続している紛争に、我々は重大な懸念を抱いている。この点について、多くのメンバーはロシアへの非難を表明した一方で、エネルギー移行作業部会は地政学的問題を議論する適切な場ではないとの見解もあった。また、エネルギーは決して政治的な威圧の道具として使われるべきではないという意見が多かった一方、一方的な制裁を控える必要性を強調する意見もあった。現在の状況によって、エネルギーシステムを、より安全で、信頼できる、強靱なものへと急速に変革させることの緊急性が強調されている。また、メンバーは、平和や敵対行為の停止、戦争の即時停止も要求している。

### 第2部

閣僚は以下の内容に合意した。

3. 我々は、市場の安定と廉価な価格の実現、エネルギー安全保障の強化、エネルギーの持続可能性の向上、そしてエネルギー移行の加速に向けたソリューションの重要な一翼を担っていくことにコミットする。我々は、持続可能な開発と気候変動に関する目標に沿って、重要鉱物や材料を含むサプライチェーンの強化、強靱性の強化、拡大するエネルギー需要を満たすための包摂的な投資の促進により、衝撃と不確実性に耐えることができる、将来性のある安全なエネルギーシステムを実現する。我々は、エネルギー安全保障を促進することが、公正で、包摂的で、廉価で、実行可能なエネルギー転換を加速し、確保するための、我々のアジェンダを強化することを認識する。

### グローバルな目標達成に向けた努力の強化

4. 持続可能な開発のための2030年アジェンダ、UNFCCC、パリ協定、グラスゴー気候合意を含むCOP26とCMA3での決定を想起し、我々は、2030年までに、全ての人々が廉価で、信頼でき、持続可能で、近代的なエネルギーへのアクセスを確保するための取組を継続する。我々は、緩和、適応及び資金にまたがる行動をとり、各国の異なる事情に照らした、共通に有しているが差異のある責任及び各国の能力に関する原則を反映したUNFCCC及びパリ協定の完全かつ効果的な実施に対する我々のコミットメントを再確認する。ローマで合意されたとおり、我々は、今世紀半ば頃までに世界全体で温室効果ガスのネット・ゼロ排出又はカーボンニュートラルを達成することの重要な関連性を認識し、この点に関して様々な国が表明するアプローチ及び期限に留意する。

- 我々は、気候変動に関する政府間パネル第 6 次評価報告書に留意し、エネルギーと気候の結びつきを強調するとともに、クリーンで、持続可能で、公正で、廉価で、包摂的なエネルギー移行を通じてエネルギー部門の排出を削減することにより気候変動を緩和する行動を加速させ、世界全体の平均気温を工業化以前より摂氏 2 度高い水準を十分に下回るものに抑えること及び、世界全体の平均気温の上昇を工業化以前よりも摂氏 1.5 度高い水準までのものに制限するための努力を継続することを強調する。

## バリ・コンパクト

- 我々は、誰も置き去りにしない、エネルギー移行のための 9 つの自主的な原則を定めた我々 G20 の枠組みであるバリ・コンパクトを支持し、これまでの G20 議長国の成果を踏まえ、エネルギーセクターにおける G20 の取組を進めることを目指す。

## 優先事項 1 – エネルギーアクセス

- 我々は、持続可能な開発のための 2030 アジェンダの目標達成、特に SDG7 に関する我々のコミットメントを再確認し、エネルギーアクセスにおける格差を解消し、エネルギー貧困を根絶するために努力する。我々は、特に最も脆弱な人々や避難民等にとって、そうしたアクセスを確保することがベーシック・ヒューマンニーズであることを認識し、廉価で、信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを改善する。我々は、近代的エネルギーの最低要件を備えたクリーンな調理及び電気における解決策の提供や地域の相互接続性の開発を含むがこれに限定されない、エネルギーアクセスを改善するための様々な経路を認識する。我々は、特にアフリカへの支援を継続することにより、エネルギー供給を確保するための様々な可能性を模索し、ユニバーサル・アクセスを達成することの重要性を強調する。今年は、特に太平洋地域など、世界のいたるところに存在する島嶼国、遠隔地や孤立したコミュニティが直面するエネルギーアクセスに関する課題に深く切り込んだ。

## 優先事項 2 – スマートかつクリーンな技術の展開

- 技術ソリューションを拡大し、異なるアプローチを促進することは、クリーンエネルギーのイノベーションと公正なエネルギー移行を加速するために不可欠である。我々は、持続可能な開発目標や気候変動に関する目標を達成するために、相互に合意した条件の下で、技術開発、技術及び知識の移転に関する協力的行動を強化することの重要な役割を強調する。我々は、クリーンエネルギー大臣会合、ミッション・イノベーション、G20 エネルギー効率化先導プログラム、エネルギー効率化ハブ等の技術的なパートナーシップを歓迎する。我々は、各国の事情を考慮し、資源の利用可能性に応じて、エネルギー効率化対策、様々な種類の再生可能エネルギー、その他のゼロ及び低排出技術（排出削減対策技術及び除去技術を含む）を含むクリーンで、安全で、持続可能な技術及びアプローチを促進し、それに投資することにコミットする。我々は、次世代クリーン技術のイノベーション・エコシステムを後押しし、その商業化を加速するための、官民の資金及び技術協力の役割を認識する。我々は、途上国におけるクリーンエネルギー技術の強靱性を強化し、デジタル・セキュリティに関する懸念を含む関連リスクを緩和することをコミットする。

## 優先事項 3 – ファイナンス

- 我々は、特にエネルギー移行を加速する途上国に対して、クリーンエネルギー向けの投資と資金フローを強化する。この観点から、我々は、プロジェクト・パイプラインの強化、リスク回避メカニズムを含む政策・規制枠組の強化、質が高くバンカブルなプロジェクトの準備、承認の合理化を通じて、上流向けを含む包摂的な投資を解放し改善するためのエネルギーセクターの行動を支援する。我々は、地元住民の利益を最大化するために、地元

での製造、技術、相互に合意された条件の下での技能移転の重要性に留意する。我々は、協力関係を強化し、革新的なファイナンスの選択肢を見極め、グリーンファイナンスとトランジションファイナンスといった両立するアプローチを促進し、政策・制度・規制上の支援を提供するために、機関投資家、国際開発金融機関、その他の金融機関、産業界、政策立案者間で、対話と行動を更に進めることを要請する。

### **クリーンで、持続可能で、公正で、廉価で、包摂的なエネルギー移行のためのパートナーシップ**

10. クリーンで、持続可能で、公正で、廉価で、包摂的なエネルギー移行を実現するために、我々は、革新的なパートナーシップのための協力関係を継続的に強化し、必要な技術への資金及びアクセスの両方を確保することの必要性を強調する。このようなパートナーシップは、先住民や地域社会、女性、若者、子供、移民、障害者にも利益をもたらし、活力を与えるだろう。我々は、先進国と途上国間のものも含めて、エネルギー移行を加速させる各国の目標を支援するための、新たな共同イニシアティブを探求することを歓迎する。

### **最後に**

11. 我々は、この行動のための重要な 10 年間に於いて、G20 インドネシア議長国が、我々のグローバルなアジェンダに継続性を持たせるための提案として、「バリ・エネルギー移行ロードマップ」を提出したことに言及する。この議長国ロードマップは、持続可能な開発目標(SDGs)を達成する軌道に乗るための自発的な複数年の行動を設定し、各国の事情に応じて、ネット・ゼロ排出やカーボンニュートラルに向けた道筋を示すものである。

12. 我々は、インドネシア G20 エネルギー移行作業部会へのパートナー国際機関の貢献に感謝する。我々は、アジェンダを管理するインドネシアの議長国に感謝する。我々は、2022 年 11 月 15 日及び 16 日にバリで開催される G20 首脳会合に我々の成果物(注: 英文のとおり)を提出する予定である。我々は、2023 年の G20 議長国インドでの進展と更なるイニシアティブを歓迎する。

### **G20 議長国文書**

- ・バリ・エネルギー移行ロードマップ
- ・アクセス、技術、ファイナンスに関する実績評価
- ・2022 年 G20 エネルギー移行作業部会サイトイベントサマリー